

TRAVEL



©Disney



一生に一度の50周年イベント「マジックキングダム・パーク」にあるデイズニーのテーマパークの象徴とも言えるのシンデレラ城は、虹色に輝く装飾に彩られ、いつもより豪華な姿でゲストを迎えてくれます。4つ

フロリダ州に4つの広大なテーマパークを持つ「ウォルト・デイズニー・ワールド・リゾート」は今年50周年を迎え、10月1日から18か月間にわたるアニバーサリーイベントがスタート！デイズニーファンが待ちに待ったイベントがあり、初日の一部パークはすでに予約が売り切れ状態の人気ぶりです。

50周年に合わせてデイズニーへの旅行を計画中のファンは必見！今回は盛大な50周年イベントを最大限に満喫するための最新情報を、デイズニーキャストの経験があるアムネットスタッフがお届けします！

50周年のデイズニーで魔法の旅を 50周年だけじゃない！滞在を楽しみ尽くす欲張り旅行

それぞれのパークでも50周年にちなんだデコレーションやショーが行われ、その中でも特に音楽と花火が夜のマジックキングダムに魔法をかけるショー「Disney Enchantment」や、エプコットの湖面で行われる水と花火のダイナミックなショー「Hammot's」は必見です。50周年限定アイテムも順次発売予定なので、各パークのお土産もお見逃しなく！

「エプコット」のワールド・ショーケースエリアは、モロッコや中国、そして日本など11か国を周遊した気分を味わえる空間となっています。さらに11月20日までの期間限定で、フランスやドイツ、ブラジル、インドなどさまざまな国の料理や飲み物も楽しむ事ができる「エプコット・インターナショナル・フード&ワイ」も人気です。また、アフリカを包んだデイズニーのサファリパークに行くと、カラクラーたちが登場するショーなど、50周年イベントとはまた違った雰囲気

を存分に楽しむことができます。50周年イベントに加え、他の特別イベントも同時に楽しめるチャンスは2021と2022年の秋冬だけ！

なお、クリスマスイベントには事前に別途チケットの購入が必要となります。同じく人気のハロウィーンイベントはすでにチケットが完売となっているため、早めのご購入をおすすめします。

SAMURAI MAMA
Tavern・Udon Noodle
205 Grand St., Brooklyn, NY 11211
(地下鉄L, Bedford駅徒歩5分)
Tel: 718-599-6161
Pick Up & Delivery Available in Brooklyn
Visit Our Website for Details
www.samuraimama.com

また、ハワイ気分を味わえるデラックスホテル「デイズニー・ポリネシア・ビレッジ・リゾート」は、モアナをイメージした客室のインテリアで再オープンしたばかりです。

まるで映画のワンシーンのようなファミリー向けホテル「デイズニーの名作映画に飛び込んだかのようなホテル「デイズニー・アト・オブ・アニメーション・リゾート」は、子どもから大人まで大興奮間違いなしです。最大6人まで宿泊できるファミリースイートの客室もあり、家族みんなで一緒に滞在することも可能です。さらに、ホテルからパークへのアクセスは2019年に開通した「デ

※写真はイメージです。※記事作成時の情報となりますので、最新情報は各公式機関にてご確認ください。※現在地域により移動制限等が発表されており、各州の最新情報や現地大使館・総領事館からの安全情報を確認ください。

旅行会社アムネットバケーション/テーマパークデスク amnet-usa.com

常に進化を続けるフロリダワールド・リゾート。何度訪れても夢と感動を届けてくれる魔法の世界は、子どもから大人まで日常を忘れてさせてくれること間違いなしです。事前パーク予約の空きは各パーク限りがありますので、特にサンクスギビングや年末年始などの大型連休をはじめ、旅行の計画はお早め！



栗原祐司の
ミュージアム・フリークのひとりごと

第415回

小豆島の イサム・ノグチ

およそ30年ぶりに小豆島を訪ね、オリーブ園を見学してきました。小豆島に初めてオリーブがやってきたのは1908(明治41)年のことで、当時の農商務省が三重、鹿児島、香川の三県で、アメリカから輸入した苗木を使って試作を行ったのが始まりです。他の地域が木の成長に伸び悩み栽培を断念する中、小豆島の西村地区に植えたオリーブだけが順調に育ち、大正の初めには搾油が出来るほど実をつけるまでになりました。オリーブは地中海地方が原産とされ、比較的乾燥に強いことから、スペインやイタリアなどの地中海地域で広く栽培されています。穏やかな地中海性気候に恵まれた小豆島の風土は、オリーブ栽培に適していたのでした。その後、一般の農家でも栽培されるようになり、栽培面積は徐々に広がっていき、いつ

しか小豆島は「オリーブの島」と呼ばれるようになりました。

現在、オリーブ園では観光農園としてオリーブ製品の製造・管理、レストランを運営しています。敷地内で栽培しているオリーブは約2千本で、5月下旬から6月上旬にかけて白い小さな花を咲かせ、7、8月に果実が肥大化し、加工用果実の収穫は9月末ごろから始まります。園内には

樹齢100年の園内最古の「オリーブの原木」もあります。さらに、瀬戸内海を一望できる「オリーブの丘」には、イサム・ノグチの遊具彫刻があります。2012年10月、「子どもたちの元気な声を園内に響かせたい」との思いから作られたこのスペースには、高さ6メートルの円筒かららせん状に滑り降りるスパイラルスライド、リング状の不思議なビジュアルが想像力をかきたてるブレイスカルプチュア、カラフルな四角い柱で構成されたブレイクューブの3種5基が設置されています。

なぜこの場所に20世紀を代表する世界的な彫刻アートの作品があるのかというと、実はイサム・ノグチと香川県との交流は深く、パリのユネスコ本部の日本庭園への作品素材に香川県で産出される花崗岩を産治石を使ったことをきっかけに庵治町・牟礼町(現・高松市)にアトリエを構えましたが、その際に、飛び石や敷石の原石を求めて小豆島も訪問し、小豆島産の花崗岩も使用されたのです。

オリーブの花言葉は「平和」「安らぎ」「知恵」「勝利」などで、平和の象徴でもあるオリーブと遊具彫刻の組み合わせが、訪れた子どもたちに夢と新たな世界の広がりをもたらしてくれたことを期待したいと思っています。

Yes, **NOBORDER**

インターネット報道番組 平日(月)～(金)
日本時間 夕方17:00～生配信
ニュース オブ エド 24時間アーカイブ無料！
番組ホームページ <https://op-ed.jp/>

“世界平和の祈り”

神の無限の愛、吾に流れ入り給いて、愛の靈光燦然と輝き給う。その光いよいよ輝きを増して全地上を覆い給い、すべての人々の心に愛と平和と秩序と中心帰一の真理を満たし給う。

● 日日33回祈るべし。

☎(718) 268-4956

ニューヨーク旅行の
全てがそろった旅行会社

「あつとニューヨーク」で検索！

あつとニューヨーク 検索

ニューヨーク旅行専門・現地のスペシャリスト **あつとニューヨーク**

電話：(212) 489-9070
住所：939 8th Ave, Suite 504

★観光ツアー★

★空港送迎★

★ミュージカル割引チケット★

★展望台割引チケット★

日本の家族へ

自分史

エッセイ

あなたの本を作ります。

週刊NY生活 出版事業部

NY生活プレス社の商業・共同・自費出版

(212)213-6069